

日本学術会議・地球惑星科学委員会・地球惑星科学国際連携分科会
SCOSTEP-STPP 小委員会(第26期・第4回)議事要旨

開催日時: 令和7年5月22日(木) 14:00~14:55

開催場所: オンライン会議(ZOOM)

出席者: 浅村和史、石井守、上野悟、海老原祐輔、大塚雄一、加藤千尋、加藤雄人、河谷芳雄、
草野完也、坂崎貴俊、佐藤薫、塩川和夫、関華奈子、高橋幸弘、田中良昌、中溝葵、中村卓司、
能勢正仁、花岡庸一郎、増田智、松岡彩子、三宅芙紗、三好由純、山本衛、横山竜宏、余田成男

欠席者: 坂尾太郎、村山泰啓、吉川顕正、渡辺真吾

オブザーバー: 阿部修司、家森俊彦、今城峻、大村善治、門倉昭、北村健太郎、塩田大幸、津田敏隆、廣岡 俊彦、
藤本晶子、宗像一起

配布資料

資料1: 第26期SCOSTEP-STPP小委員会名簿

資料2: SCOSTEP-STPP小委員会(第26期・第3回)議事録

議事

(1) SCOSTEP及びPRESTOプログラム(2020-2024)、COURSEプログラム(2026-2030)に関する情報交換

塩川委員長から、SCOSTEPのScientific Secretaryの新体制と予算状況、PRESTOの活動、COURSEプログラムの内容、SCOSTEPが実施・参加する会議・人材育成スクール、来年度にギリシャで開催される4年に1度のSTP-16シンポジウムの準備状況、授賞状況、学生派遣プログラムやoutreach活動、国際学術会議(ISC)の総会や国連宇宙平和利用委員会(UNCOPUOS)への参加報告などについての説明があった。その後、2026年から実施される5か年計画のCOURSEプログラムの科学目標や今後の進め方、日本からの貢献・日本での有用性などに関して質疑応答及び意見交換が行われた。また、SCOSTEPのISCメンバー(カテゴリー4)としての位置付けに関して、質疑応答が行われた。

(2) その他STPP関係の活動に関する情報交換

塩川委員長から、昨年、学術会議に提出した本小委員会の活動調査報告書に関して、新たに送られてきた追加の質問に対する回答案の説明があった。それに関して、いくつか意見が出され、SCOSTEPと国内学術団体との関係をより明確にするとともに、SCOSTEPが広い分野にわたり学際的かつ国際性の高い活動を行っている学術組織であることを踏まえ、引き続き学術会議がNational Adherentを担うことの重要性を明確にする”などの修正を加えたうえで、回答を提出することになった。また、宇宙空間の研究の関係で、ロケットや人工衛星など工学分野や産業界との連携も重要であることが指摘された。

中溝委員から、UNCOPUOS傘下の国際宇宙天気イニシアティブ(ISIW)における日本の代表に新しくNICTの津川卓也氏が着任することになったという報告があった。

(3) 次回会合の予定

塩川委員長から、例年通り、次回会合を令和7年11月頃開催したいとの提案があり、承認された。

(4) その他

特に無し。

以上